

第72回 全日本高等学校選手権大会 都予選会 要項

謹啓 いつも当連盟主催の競漕大会にご参加を戴き、誠にありがとうございます。標記の競漕大会を下記の通りに実施いたしますので、ご参加戴けますようお願い申し上げます。

敬白

記

1. 大会名称 第72回 全日本高等学校選手権大会 都予選会
2. 主催 東京都高等学校体育連盟ローイング専門部 東京都ローイング協会
3. 会期 令和6年6月16日(日曜日)
4. 会場 戸田ボートコース (埼玉県戸田市)
5. 距離 1,000メートル

6. 種目および出漕料

項番	種目	出漕料
1	舵手付きクォドルプル (男子・女子)	10,000円
2	ダブルスカル (男子・女子)	10,000円

項番	種目	出漕料
3	シングルスカル (男子・女子)	10,000円

7. 参加資格等
 - ① 令和6年度の団体登録および選手登録 出漕時点において、いずれかの都道府県ローイング協会所属の高校団員で、なおかつ公益社団法人日本ローイング協会に対して令和6年度の団体登録および選手登録を行っている者。(クラブチームの団体登録からの選手登録では参加不可。在籍する高校名の団体登録からの選手登録が必要。)
 - ② 予選会現在に、東京都高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍している者。
 - ③ 令和6年全国高等学校総合体育大会・第72回全日本高等学校選手権大会要項に記載する参加資格および参加制限に該当する者。
 - ④ JOCエリートアカデミーについて JOCエリートアカデミー所属選手は、男女ともシングルスカル種目のみ参加することができるものとする。
 - ⑤ 出漕クルー数の制限 同一団体からの同一種目への出漕クルー数の制限はない。ただし、この場合、クルー名の末尾にA, B, …, Zの記号を付与すること。
 - ⑥ ダブルエントリー 同一選手が複数クルーの選手として出漕することを認めない。出漕クルー名簿の提出時だけでなく、レース当日に選手変更をする場合も、同一選手が複数クルーでレースに出漕することは認めない。
 - ⑦ 大会役員および補助員の届け出 出漕申込とともに、大会役員となる顧問および補助員 3名の氏名を届け出ること。ただし東京都高等学校体育連盟ローイング専門部によって補助員の減員を認められた場合を除く。(協議のうえ専門部から増員を依頼する場合もある。)
 - ⑧ 男子種目については男子の舵手、女子種目については女子の舵手に限る。
8. 使用艇 自艇参加とする。

9. 競漕方法 大会は、最新の公益社団法人日本ローイング協会の競漕規則及び号令集に原則準拠して実施するものとする。
- 東京都ローイング協会ホームページ「大会共通の規約」に掲載されている「審判長注意(2024年3月)」と、「大会中の練習水域(1,000m)」を事前に確認しておくこと。特に注意・確認事項として安全確保について、自己及びクルーの責任を基本として理解の上競漕会に臨むこと。
- ① パウボールの装着が無い場合は、予選会への参加を認めない。
 - ② パウナンバーを装着していない艇は、審判長の許可のない限り、予選会への参加を認めない。
 - ③ フットストレッチャー(ストレッチャー、シューズなど漕手の足を保持するすべての装置)は、漕手が緊急時において速やかにボートから離脱することができる(クイックリリースフットストレッチャー)形式であること。「クイックリリースフットストレッチャー」とは以下のものをいう。
 - (1)足を保持するフットストレッチャーが艇に残る場合は、足が容易に解放されるように、フットストレッチャーのかかたが水平位置より上に上がらないよう、フットストレッチャーをヒールロープにより両足それぞれ独立して固定すること。さらに、漕手がフットストレッチャーから足を外す際に、靴ひも、マジックテープ、または同様の素材を開ける必要がある場合は、漕手が片手で引く簡単な一動作ですぐに両足が解放できる構造であること。
 - (2)フットストレッチャーが艇に残らない場合は、漕手が手を使わずに容易に両足が解放される構造または手が届きやすい紐や解除装置の「片手による簡単な一操作」ですぐに両足が解放できる構造であること。違反艇でレースに出漕したクルーは、失格までの罰則が与えられる。
 - ④ 競漕規則第22条を踏まえた上で、救命具の所持・不所持は各参加クルーの自己責任とする。
10. 表彰等 各種目1位に認定証を授与、1位から3位までに賞状とメダルを授与する。
11. 申込み方法 下記口座に所定の出漕料を振込みのうえ、出漕申込書に必要事項を漏れなく記入し、下記送付先まで郵送すること。併せてクルー名簿、役員補助員届についても必要事項を入力の上、メール添付にて提出の上、下記まで郵送のこと。出漕料の入金は振込にかぎり、現金・小切手等による入金は受理しない。金融機関の発行する振込金受領書をもって領収証に代えるが、別途発行が必要な団体はその旨連絡すること。なお、振込人名義は、出漕団体名とし、出漕料の振込を確認できる書類のコピーを出漕申込書に添付すること。
- 振込みが期日に間に合わないことが見込まれる場合は、事前に下記送付先まで連絡すること。
- なお、棄権あるいは登録変更により出漕クルー数減少の場合でも、出漕料および出漕申込書は返却しない。
- ① 出漕料の振込先 みずほ銀行高田馬場支店 口座番号:2082454(普通預金)
口座名: 東京都高体連ボート専門部 高城彰吾
(トウキョウトコウタイレンボートセンモンブ タカギシヨウゴ)
 - ② 出漕申込書の送付先 〒167-0035 杉並区今川2-7-1 中央大学杉並高等学校 山田篤史
ba0406@gmail.com
12. 申込み締切 令和6年5月24日(金曜日)消印有効 間に合わない場合は5月27日(月曜日)メール添付にて必着のこと。
13. 競漕日程 競漕会日程(除く組み合わせ)については令和6年5月29日(水曜日)に確定し東京都ローイング協会ホームページにて発表する。組み合わせ抽選は、令和6年6月7日(金曜日)に行われる下記(その他①)専門部予選会準備会議に先立って事務局において実施し、会議後同ホームページにて発表する。なお、出漕申込書にE-mailアドレスの記入のある団体には、組み合わせ抽選結果および競漕会日程を電子メールで配信する(返送用封筒の同封等は不要)。
14. 棄権届およびブレード不統一届 棄権するクルーは出漕するレースの1時間前までに棄権届を提出すること。予選後のレース(準決勝や決勝)についても同様とする。
- ブレード・カラーを統一できないクルーは、大会当日の役員集合時刻までに所定の用紙に必要事項を記入し、その旨を申請すること。ただし、事由によっては受理できないこともある。
15. その他
- ① 都高体連専門部による予選会準備会議を令和6年6月7日(金曜日)夕方にオンラインにて行う予定である。出漕団体から指導者1名以上が出席するものとし、欠席の場合は事前に申し出のこと。詳細は後日通知する。
 - ② 予選会数日前に出漕団体による会場設営準備を行う場合がある。詳細は準備会議にて決定する。
 - ③ コックスの計量は競漕規則に準拠して実施する。なお艇計量は実施しない。

- ④ 出漕クルーの登録変更(出漕クルーのキャンセルを除く)については、①予選会準備会議の開始時刻まで認める。下記 E-mail アドレスに連絡のうえ、同封の変更届を申込先に送付のこと。
- ⑤ ④の締切以降、出漕クルーの編成に変更がある場合は、大会当日の役員集合時刻までに大会本部において、変更届に必要な事項を漏れなく記入し、その旨を申請すること。クルー編成変更について、シングルスカル種目を除く各種目は、同一団体に所属している者であれば、漕手の半数までと舵手を代えることができる。ただし、各選手正選手として出場できるのは1クルーのみとし、予選出漕以降のクルー編成変更は、シート変更のみ認める。
- ⑥ 本競漕大会における各種目において優勝したクルーは、8月9日(金)より8月12日(月)まで長崎県本明川ボートコースにて開催される第72回全日本高等学校選手権競漕大会に東京都代表として参加するクルーとして認定する。当該校関係者は都予選会終了後、大会本部にて行う都代表校会議に出席のこと。
- ⑦ 諸般の事由で当予選会が開催できない場合、⑥の代表決定方法は別途通知する。
- ⑧ 競漕委員会の許可なくレース中にクルーに伴走したり、許可を得た場合でもスマホ等で撮影しながら伴走してはならない。同様の趣旨につき、各団体において保護者やその他関係者にも共有すること。
- ⑨ その他、不明な点がある場合は、下記までお問い合わせください。(電子メールは2~3営業日後に回答)

中央大学杉並高校:山田篤史 E-mail : ba0406@gmail.com

筑波大学附属高校:大庭大輝 E-mail : dooba@high-s.tsukuba.ac.jp

以上